

大阪府立近つ飛鳥博物館
令和5年度冬季特別展



石枕(伝奈良県渋谷出土)
重要文化財/関西大学博物館 所蔵

古墳時代の石枕と葬送儀礼

2024.1.13 sat. → 3.10 sun.

- 開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 毎週月曜日[月曜日が祝休日の場合は火曜日が休館]
- 入館料 / 一般650円(520円) / 65歳以上・高大生450円(360円)
 - 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
 - ()内は20名様以上の団体料金

【主催】大阪府立近つ飛鳥博物館
【後援】河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会
百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議
歴史街道推進協議会、近畿日本鉄道株式会社、朝日新聞社

世界遺産 World Heritage Site of Osaka
百舌鳥・古市古墳群
Mozu-Furuichi Kofun Group

歴史街道
REKISHI KADDO

アスカティア・古墳の森
大阪府立近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM

〒585-0001 大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL 0721-93-8321 FAX 0721-93-8325

<https://chikatsu-asuka.jp>
指定管理者：AKN 共同事業体

特別展の詳細は
こちらをご覧ください!

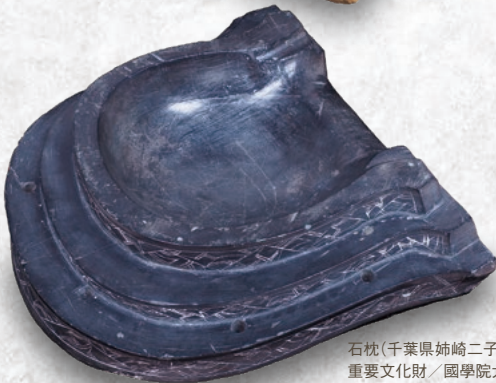




埴製枕(奈良県五条猫塚古墳)
奈良国立博物館 所蔵



復原された琥珀製枕
(奈良県竜田御坊山3号墳)
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 所蔵



石枕(千葉県姉崎二子塚古墳)
重要文化財/國學院大學博物館 所蔵



石枕と石製立花(千葉県猫作・栗山16号墳)
千葉県指定文化財/成田市教育委員会 所蔵

古墳時代には様々な葬送儀礼が執り行われたことが、墳丘や埋葬施設などからの出土品により推測できます。様々な出土品の中に、棺に死者を安置するために使われた枕があります。今でこそ寝具として使われる枕ですが、これまでに見つかった古墳時代の枕は主に死者のための枕です。

古墳時代には木製、石製、土製、土器転用などの枕や、石棺底を加工した造り付け枕などが作られました。古墳時代から飛鳥時代にかけて各地で見られる様々な枕ですが、古墳時代中期の常総地域でとくに盛行しました。その代表が常総型石枕と、石枕の装飾品である石製立花です。石枕や石製立花などに残る痕跡から、古代の葬送儀礼である殯との関連が指摘され、当時の葬送儀礼に迫る重要な資料として知られています。

令和5年度冬季特別展では常総型石枕と石製立花を中心に、各地の石枕、埴製枕、関連資料などを紹介し、その盛衰と当時の葬送儀礼について考えてみたいと思います。

シンポジウム — 古墳時代の石枕と葬送儀礼

令和6年2月4日

白井久美子氏 (千葉県立房総のむら 風土記の丘資料館)	石枕と葬送儀礼
石井 友菜氏 (千葉県立中央博物館大多喜城分館)	常総地域の石枕の製作技術
北山 峰生氏 (奈良県立橿原考古学研究所)	伝渋谷出土の石枕をめぐって
小山田宏一氏 (大阪府立狭山池博物館)	前方後円墳祭式の成立と枕の登場
久永 雅宏 (大阪府立近つ飛鳥博物館)	石製立花の成立と変遷

■ 時間/10:30~16:00 ■ 会場/地階ホール ■ 定員/150名(申込不要)
■ 参加費/無料(ただし、当日の入館手続きが必要です。)
※午前10時より受付にて整理券を配布します。※昼食を持参されることをおすすめします。

土曜講座

令和6年1月27日

久永 雅宏 (大阪府立近つ飛鳥博物館)	石枕と石製立花の葬送儀礼
------------------------	--------------

■ 時間/14:00~15:00 ■ 会場/地階ホール ■ 定員/150名(申込不要)
■ 参加費/200円(当日の入館リフレット、もしくは年間パスポートの提示で無料)

学芸員による展示解説

1月13日 1月21日 2月12日 2月23日 3月9日

■ 時間/14:00~14:30 ■ 会場/地階特別展示室

ナイトミュージアム

2月10日 2月11日
キャンドルナイトにあわせて開館時間を延長します。
17:30から展示解説を行います。

■ 時間/17:00~18:30(最終入館は18:00まで)

クイズラリー

■ 時間/期間中常設 ■ 会場/地階特別展示室

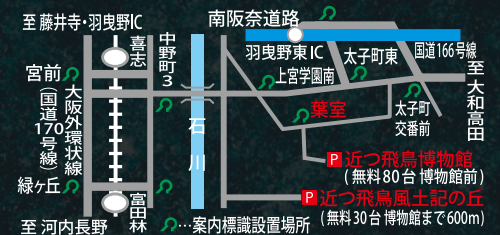
鉄道・バス案内図

近鉄長野線喜志駅または富田駅下車、バス「近つ飛鳥博物館前」行き終点下車、徒歩600m。大阪阿部野橋駅から河内長野行き準急利用で喜志駅まで約30分です。



道路案内図

高速道路利用の場合は、大阪方面からは羽曳野東ICが、橿原方面からは太子ICの利用が便利です。



大阪府立弥生文化博物館 令和5年度 冬季特別展
紀元一世紀の社会変革
— 弥生後期のはじまりをさぐる —

2024
1/20
↓
3/17

銅鏡:弥生文化博物館所蔵銅鏡および弥生時代の絵画などをもとに創作(実在の鏡ではありません)

● アスカディア・古墳の森
大阪府立 近つ飛鳥博物館
OSAKA PREF. CHIKATSUASUKA MUSEUM
指定管理者: AKN 共同事業体

詳しくは当館のホームページまで!